



昭和58年5月26日、日本海中部地震が発生、道路に大きな亀裂(大町四・五丁目)

あきたノスタルジー

秋田市の昔を、写真で振り返ります。

「大地が揺れるような激しい振動、もう立っていられなくて…」

昭和58年5月26日正午ごろ、日本海中部地震が発生。マグニチュード7.7、震度5の強震を記録しました。

晴天のお昼時、突然襲った大地震。

市民5人の尊い命が奪われ、一般住宅やビル、港湾施設、道路、上・下水道などにも多くの被害が発生しました。

秋田市の被害総額はおよそ65億円、全県では1,100億円にもものぼる大災害でした。

そんななか、ほとんどの市民がすぐに火を消して、火災の少なかったことが賞賛されました。

5月26日は県民防災の日。日本海中部地震から17年、災害は忘れたころにやってきます。

有珠山の噴火も他人事ではありません。万が一のときには最小限の被害にとどめたいものです。

「備えあれば憂いなし」。非常用品、食料品、地域の連携など今一度確認を。



去年の誕生の森で

誕生の森で 記念植樹を

とき 5月30日(火)午前10時30分

ところ 濁川字東ノ沢

午前9時30分に市役所裏に集合、
45分出発。記念植樹後、正午に
市役所解散となります。

赤ちゃんの誕生を記念して、杉やケヤキの苗木を植えてみませんか。赤ちゃんと一緒に家族おそろいでどうぞ。

木は50年後に伐採し、その収益を高齢者福祉のために役立てます。

定員先着100人 参加無料

申し込み

5月17日(水)と18日(木)の2日間、
林務課☎(866)2117へどうぞ